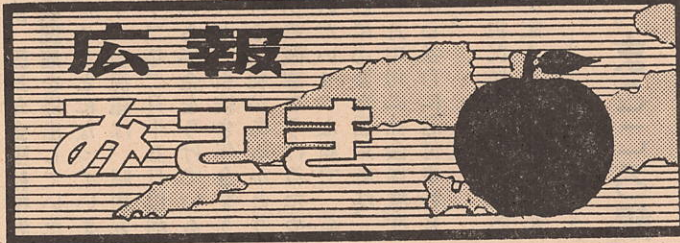


＝納税のお知らせ＝
 1月 町県民税(4期) 国民健康保険税(7期)
 2月 固定資産税(4期) 国民健康保険税(8期)

発行所
 愛媛県三崎町役場
 編集
 三崎町役場総務課



印刷所
 クボタ印刷所

世帯数 二、〇五六
 人口 六、八七〇
 男 三、二〇二
 女 三、六六八
 昭和五十三年
 一月一日現在

謹んで新年の

およろこびを

申し上げます

三崎町長 杉山茂丸



過去に経験の無い、
 四年にわたる長期の不
 況は、私達日本人の、
 考え方、生活態度、社
 会観を、根底から変え
 ざるを得ないところま
 で、追いこんで参りま
 した。

アメリカの、対日経
 済政策の本心が、ちら
 りと顔を出した円高不
 況は、日本の経済界を
 大きくゆさぶり、結果
 波止浜造船の超大型倒
 産を引き起こし、さら
 には、農産物を含めた
 輸入枠拡大等の諸問題
 が生じ、今や日本の政
 治姿勢そのものをも転
 換せざるを得ないとこ
 ろま

ろと、相成りて参りま
 した。
 然し、我が国は、日
 本人は、決してこのま
 まくずれ去るとは考え
 ておりません。

日本人は、世界に誇
 る素質らしい素質を持
 った国民であると信じ
 ております。

そしてその真価は、不
 況下において、更らに
 大きく発揮されるもの
 と、考えております。

あの敗戦のすさまじ
 い混乱から、アメリカ
 の援助があったとは言
 え、見事に立ち直った
 ではありませんか。

それは、政治、政策の
 た。即ち、地方自治体
 の責任

私は、三崎町の責任
 者としてこの路線の転
 換、発想の転換を皆さ
 んに先んじて断行致し
 たいと決心をしまし
 ました。

年頭のあいさつ

三崎町議会議長 菊池 功

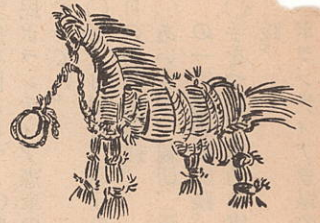


町民の皆さん、明け
 ましておめでとうござ
 います。

昨年中は一方ならぬ
 ご協力を賜わり、厚く
 お礼申し上げます。

顧みまますと、昭和五
 十二年は諸事多難な年
 でありました。しかし

昭和五十三年も、又、と議会の円満な運営に
 厳しい社会情勢のうち 誠心誠意努力し、より
 に明けました。このよ 町民のしあわせを追求
 うなときにこそ、私達 してゆく決意でありま
 す。町民は、現実をしっか ず。
 り見詰め、対話と理解 どうか旧倍のご支援
 そこから生まれた連帯 をお願い申し上げます。
 感によって、この厳し ます。
 さを克服し、住みよい 昭和五十三年が、す
 町、しあわせな生活の べての町民の皆さんに
 実現に努力して行かな とって、心から、生が
 ければなりません。い としあわせを感じと
 れる年となるよう祈念
 しますが、町政にたずさわ
 る一人として、また議
 長として、町政の伸展



は過去の陳情政治にの
 み流れて行ったのでは
 自らが墓穴を掘ること
 に相成ります。そのこ
 とを、皆さんに是
 非とも理解して頂きた
 いのです。又、併せて
 農、漁民の皆さん自身
 が、各自の御家庭でそ
 の生活設計の見直しを
 行い発想の転換を実行
 しなければならぬ時
 であります。

福祉も、教育も、そ
 された最後の一年とし
 て生活も...。特に
 して大変、重要な年であ
 ります。

私上げます。
 福祉の原点は、自ら
 を高め幸せにするため
 には、自らの発想と自
 らの努力によって実現
 してゆくことでありま
 す。

私が日頃から反省す
 るのは、現状維持は進
 歩ではないと言ふこと
 であります。それを常
 に自分に言い聞かせて
 おります。言いは易し
 実現は困難です。

特に、財政基盤の弱
 い三崎町においては、
 今後、益々難しくなる
 ことは皆さんも容易に
 察せられると思いま
 す。どうかご理解
 して下さるようお願い
 いたします。

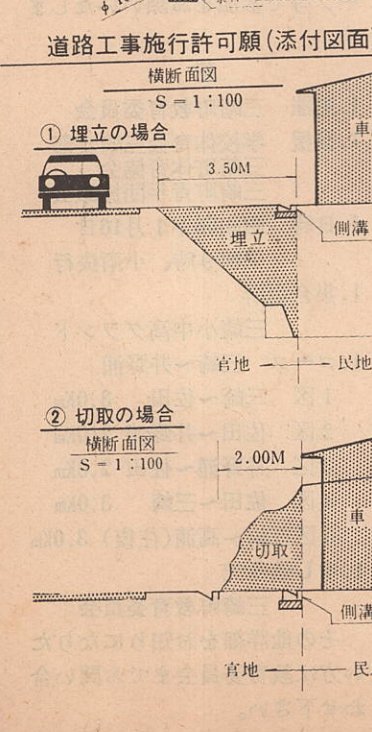
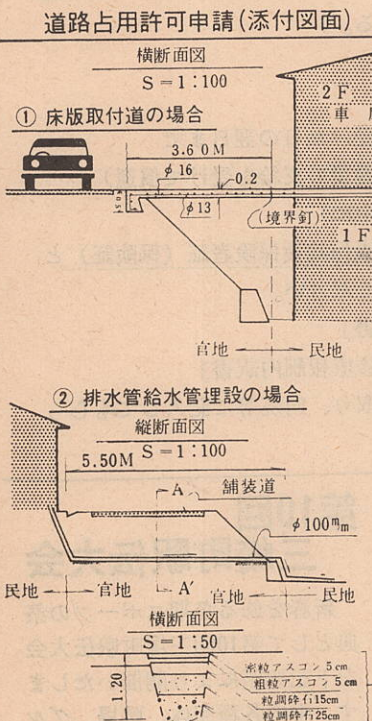
道路を広く正しく美しく

最近、道路に面して
 車庫や貯蔵庫等を建築
 する際に、道路敷地を
 不法占有したり、不法
 施行していることが見
 受けられますが、これ
 らは道路管理に支障が
 あり道路法に違反して
 います。

土羽を埋立てすると
 去しなくてははいけな
 い。

場合がある場合は、
 所定の手続きをして、
 道路敷地を利用する際
 には必ず、建設課へ御
 相談下さい。

(左図のような利用
 計画であれば許可に
 なりますので、例と
 られなくなっています。



復活した名取の亥の子!

現在、物的には大変
 このままにしておけ
 ば、五穀豊穡を祝う伝
 統行事が名取部落から
 永遠になくなってしま
 うことに着目したわけ
 です。

これらのことがらを
 昨年亥の子の日か
 ら、小学校四年以上の
 児童を集め、まず「亥
 の子歌」の練習をはじ
 めました。口うつしに
 唱って子どもたちは、
 心のふるさとを取りも
 どすことができたよう
 でした。

本年の亥の子は、十
 一月二十六日だったと
 思います。事前に、団
 長さんから、本年も是
 非亥の子行事をさせて
 ほしいとの申し出があ
 りました。学校側も地
 域に根ざした、このよ
 うな伝統行事に児童た
 らが参加することの高
 ちが参加することに高
 評し、児童たちにも
 すすめ、「亥の子」行
 事に積極的に参加する
 ようにすすめました。

児童たちは、男子青
 年団に、指導され、名
 取部落約六十軒の家
 々をまわって「亥の子」
 をつきました。女

このようにして、心
 のふるさとづくりが、
 具体的な伝統行事を復
 活することにより、三
 崎町全地域に復興する
 ことをねがってやみま
 せん。

名取小学校

